

経済情勢
コロンビア月例報告（1月分）

2012年2月
在コロンビア日本大使館

I 概要

- 政府は11日、国際資本市場にて、15億ドルの30年物グローバル債（2041年1月18日償還、利回りは4.964%）を史上最低金利で発行した。
- 26日、コロンビア及びベネズエラ両政府は、ベネズエラがアンデス共同体（CAN）を脱退して以降延長してきた二国間関税撤廃措置について、30日間延長（期限は2012年1月22日であった）することで合意した。
- 2011年の自動車販売台数は、前年の253,869台から大幅増となる324,570台を記録し、過去最高を記録した2007年の253,034台を上回った。
- 30日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、政策金利を25ベーシスポイント引き上げ、5.00%とすることを決定した（2ヶ月振りの利上げ）。また、実質GDP成長率予想について、2011年は前年比+5.5%超、2012年は同+4~6%とした。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 経済見通し

(ア) ディアス-グラナドス商工観光相（17日、当地紙報道）

ディアス-グラナドス商工観光相は、当国の目標として、2014年にはラテンアメリカにおいて、ブラジル、メキシコに次ぐ第3番目の経済大国になることを掲げた。また、達成には生産性の強化が不可欠とした。

(イ) エチェベリ財務相（31日、当地紙報道）

エチェベリ財務相は、実質GDP成長率予想として、2011年第4四半期は前年同期比+6.2%、2011年通年では同+6.0%を達成したと述べた。

(2) 経済政策

(ア) 厚生・社会保障相及び国家企画庁（DNP）長官の就任、対米FTA担当官の任命

(i) ベアトリス・ロンドーニョ・ソト前厚生次官は24日、厚生・社会保障相に就任した。

(ii) マウリシオ・サンタマリア前社会保障相は24日、国家企画庁（DNP）長官に就任した。鉱業採掘権収入のより公平な分配、企業及び雇用の正規化が主要課題となる。

(iii) エルナンド・ホセ・ゴメス前DNP長官は11日、対米FTA推進担当官に任命された。主要任務は、対米FTA発効に向けた国内課題の施行となる。

(イ) 国債発行

政府は11日、国際資本市場にて、15億ドルの30年物グローバル債（2041年1月18日償還、利回りは4.964%）を史上最低金利で発行した。165超の機関投資家からの応募額は約36億ドルであった。今次発行は、対外公的債務の借換え及び2012年資金調達計画における外債調達に充てられるとした。

（ウ）エチェベリ財務相、ラテンアメリカ最高の財務相に選出される

エチェベリ財務相は13日、America Economia誌がエコノミスト70名に対して実施したアンケートの結果、ラテンアメリカで最高の財務相に選出された。安定したマクロ経済、発展に繋がる政策及び改革の推進等が評価された。

（3）企業動向：パシフィック・ルビアレス社（11日、当地紙報道）

カナダ石油大手のパシフィック・ルビアレス社のパンティン社長は、2012年中の投資計画額は12億ドルと発表した。これにより石油生産量日量25.1万バレルを目指す。

（4）その他：電力供給（30日、当地紙報道）

ゴンザレス・エネルギー次官は、今般、マグダレナ県のTermonorte発電所及びアンティオキア県のPorvenir II発電所の両プロジェクトが認可されたのに伴い、2021年までの電力供給は確約された旨発表した。各発電所はそれぞれ2017年、2018年に稼働開始する。

<対外関係>

（1）対米FTA関連

（ア）サントス大統領は11日、米・「コ」FTAの発効に向けた措置（8ヶ月～1年を要するとみられる）の推進のため、コロンビアを訪問中の米議員等と会談した。

（イ）ゴメス対米FTA推進担当官は、同FTA発効に伴い、30万人の雇用が創出され、最初の3年間で輸出は15億ドル増加するだろうとした。

（2）対EU・FTA関連（9日、当地紙報道）

スペイン政府はEUに対し、コロンビアの対米FTA発効が迫っていることから、両国とのFTA署名を急ぐよう要求した。

（3）対ベネズエラ関係

26日、コロンビア及びベネズエラ両政府は、ベネズエラがアンデス共同体（CAN）を脱退して以降延長してきた二国間関税撤廃措置について、30日間延長（期限は2012年1月22日であった）することで合意した。この間に部分到達協定に関する交渉終了が期待される。

（4）対韓FTA関連

26日、ボゴタにて「韓国とのFTAによるリスク」と題したフォーラムが開催され、自動車部品メーカーを中心とした企業経営者、労働者、労働組合、学者、生徒及び議員等は、韓・「コ」FTAに反対する旨表明した。フォーラムでは、同FTAにより、国内製造業は価格

及び技術面で太刀打ちできない家電、自動車、自動車部品、機械及び製鉄等との競争にさらされ衰退し、輸出は食料、繊維やプラスチックが中心となり、コロンビア経済は 1990 年代の鉱業及びサービス業依存型に回帰、雇用が奪われると結論づけられた。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

11 月の実質工業生産指数 (コーヒー豆加工を除く) は前年同月比+6.5%と、前月の同 4.9%から上昇した。特に肉・魚製品の加工 (同 21.5%)、飲料加工 (13.4%) 及び製粉及び澱粉 (13.3%) の伸びが大きかった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

11 月の実質小売売上高指数は前年同月比+1.3%であった (前月は同+6.2%)。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

12 月の消費者信頼感指数 (ICC) は 29.8%と前月 (23.6%) から 6.2%ポイント上昇した。なお、前年同月は 16.7%であった。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (国家炭化水素庁 (ANH) 発表)

12 月の原油生産量は日量 93.0 万バレル (エコペトル関連同 80.8 万バレル、その他同 12.2 万バレル) であった。この結果、2011 年の平均生産量は日量 91.4 万バレルとなった。

(イ) コーヒー

(i) 生産及び輸出 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC 加盟コーヒー生産者による 12 月のコーヒー生産量は、前年同月の 116.4 万袋 (1 袋 =60 kg) から 73.5 万袋へと減少した。同輸出量についても、110.5 万袋から 85.7 万袋へと減少した。また、輸出額についても前年同月の 3.4 億ドルから 3.0 億ドルへと低下した。

この結果、2011 年通年の生産量は 780.9 万袋 (前年は 899.1 万袋)、輸出量は 773.4 万袋 (前年は 782.2 万袋)、輸出額は 28.5 億ドル (前年は 22.1 億ドル) であった。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

12 月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均 1 ポンド=2.52 ドル (前月は同 2.57 ドル、前年同月は同 2.62 ドル) であった。

(ウ) 新車販売 (Econometria 社発表)

2011 年 12 月の新車販売台数は前年同月比+5.5%の 29,961 台であった。2011 年通年では前年の 253,869 台から大幅増となる 324,570 台を記録し、過去最高を記録した 2007 年の 253,034 台を上回った。メーカー別内訳 (暫定値) をみると、Chevrolet が 33%、Renault が 15%、Hyundai が 9%、KIA が 8%であった。また、自動車販売額は、2009 年の 6.1 兆ペソ、2010 年の 9.2 兆ペソを越える約 10.0 兆ペソとなった。

(エ) 外国人訪問者 (コロンビア移民 (Migracion Colombia) 発表)

2011年の当国への外国人訪問者数は1,584,945人（うち1,062,000人は観光目的）であった。なお、ディアス-グラナドス商工観光相は21日、2014年における外国人観光客数の目標は4百万人と述べた。

（3）物価・雇用（DANE 発表）

（ア）物価

12月の消費者物価上昇率は+3.73%（前年同月比、以下同）であった（2010年12月は3.17%）。前月に続き食料品価格（+5.27%）及び教育（+4.57%）の上昇が加速した。なお、中銀のインフレ目標は3±1%。また、12月の生産者物価上昇率は5.20%（2010年12月は+4.38%）であった。

（イ）雇用

12月の全国平均失業率は9.2%（前年同月は11.1%）と、4ヶ月連続して政府目標の1桁台を達成した。12月の失業者数は225万人と、前年同月から18.8万人減少した。なお、主要13都市の平均失業率は、前年同月の11.3%から10.4%へと低下した。

（4）金融：金融政策

30日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、インフレ懸念から、政策金利を25ベーシスポイント引き上げ、5.00%とすることを決定した（2ヶ月振りの利上げ）。また、実質GDP成長率予想について、2011年は前年比+5.5%超、2012年は同+4~6%とした。

（5）税収（国税・関税庁（DIAN）発表）

12月の税収は前年同月比+20.1%の5.3兆ペソとなり、内訳は所得税（2.1兆ペソ）、付加価値税国内徴収分（0.9兆ペソ）、金融取引税（0.5兆ペソ）、関税（0.4兆ペソ）及び付加価値税国外徴収分（1.4兆ペソ）等であった。2011年通年では前年比+23.3%の86.7兆ペソとなった。

（6）貿易収支（DANE 発表）

11月の貿易収支（FOB）は、前年同月の1.6億ドルの赤字から0.7億ドルの黒字に転じた。輸入（CIF）は前年同月比+33.1%の50.6億ドルと、燃料・鉱物油・同製品が同+430.8%の高い伸びを示した。輸出（FOB）は、伝統産品が同+48.8%（うち石油・同製品は同+60.8%、石炭は同+34.3%）、非伝統産品が同+30.4%であった。

Ⅲ. 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	10/11	11/9	11/10	11/11
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	4.7	4.9	4.9	6.5
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	6.1	6.1	3.3	5.7
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	22.3	8.5	6.2	1.3
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	224.1	175.3	151.7	164.9
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 全国平均	11.1	9.0	9.2	9.8
(イ) 主要13都市平均	11.3	10.2	10.3	10.4
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 前月比	0.65	0.19	0.14	0.42
(イ) 前年同月比	3.17	4.02	3.96	3.73
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	11/1	11/11	11/12	12/1
	3.00	4.75	4.75	5.00
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 月初	1,913.98	1,871.49	1,948.51	1,942.70
(イ) 月末	1,857.98	1,967.18	1,938.52	1,815.08
(ウ) 最高値	1,838.94	1,871.49	1,920.16	1,801.88
(エ) 最安値	1,913.98	1,967.18	1,949.56	1,942.70
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 月初	15,368.27	13,077.68	12,924.52	12,735.77
(イ) 月末	15,077.93	12,924.33	12,665.71	13,863.33
(ウ) 最高値	15,368.27	13,256.92	13,001.24	13,766.91
(エ) 最安値	14,798.71	12,151.08	12,314.19	12,735.77
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	10/11	11/9	11/10	11/11
(ア) 輸出額 (FOB)	3,426.1	4,481.8	4,713.5	4,882.0
(イ) 同 年内累計	35,974.0	41,521.5	46,297.3	51,179.3
(ウ) 輸入額 (FOB)	3,587.1	4,819.1	4,610.2	4,811.0
(エ) 同 年内累計	34,586.5	38,285.9	42,896.1	47,707.0
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	10/12	11/10	11/11	11/12
	423.5	359.0	362.0	-
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/1	11/11	11/12	12/1
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,099.18	8,621.78	8,628.43	8,707.40
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：Econometria社)	10/12	11/10	11/11	11/12
(ア) 単月	25,556	25,828	29,382	29,961
(イ) 年内累計	253,869	268,227	297,609	324,570

(了)